

② 企業情報

各企業の業務内容や業績、関連企業情報を調査できるデータベースの使い方をご案内します。

データベースを学外から利用するには

『日経テレコン』など、甲南大学限定のデータベースや電子書籍・電子ジャーナルは、「VPN 接続」を利用すると、学外からも利用できます。
『甲南学園情報システム室』HP の「サービス案内」の「VPN 接続」からアクセスしてください。ID/PW は『MyKONAN』と同じです。
・スマートフォンから利用する場合は、「Web モードでの接続」を参照してください。
・図書館 HP の情報検索データベース一覧で、VPN と記載されているもののみ利用できます。

日経テレコン - 企業検索

企業検索メニューから、日本国内の上場企業と一部の非上場企業が調査できます。各企業の情報がほぼ同じ様式で表示されるため、複数の企業を容易に比較できます。日経テレコンからは、他にもマクロ経済統計や POS ランキングなどのデータを取得できます。

1. 日経テレコン>企業検索



2. 企業名で検索し、「見出しを表示」



3. 「日経会社プロフィール」を選択



4. 企業情報画面



基礎情報
会社名は正確に!

沿革
海外進出の時期や経営統合など

事業内容
経営の多角化の状況

財務諸表
資産と負債のバランスを確認

業績推移
過去5年間の業績変動が大きいときは、その理由を調べてみよう。

関係会社
子会社や出資企業など

※【連結】=グループ全体(子会社を含む)

■本には本の使い道

速さ重視のビジネス情報は、どうしてもインターネットに頼りがちですが、本を使う方が便利な時もあります。

特徴的なビジネスモデルを持つ企業であれば、そのノウハウを紹介する本が出版されることがよくあります。会社の歴史を研究するなら「社史」は欠かせません。蔵書検索システムで社名や業界名を入れて検索してみてください。

また、PCや文章力、敬語の使い方など、スキル向上や資格の取得を目指すなら、体系的に学べる本を使った方が効率的です。図書館にも、こうした自己啓発に関する本がありますが、じっくり勉強するならば、自分に投資することも検討してみてください。

■卒業したら使えない?

データベースは学内者限定なので卒業したら全部使えなくなる、わけではありません。一部のデータベースは甲南大学図書館に直接訪問すれば利用できます。また、ヘルプデスクは卒業生も利用でき、オンラインでも相談可能です。

ビジネス支援を行っている公共図書館は全国にありますし、国立国会図書館も利用できます。重要な案件の準備のために図書館で調査、というスタイルがあつていい、と思うの

企業ホームページ

情報開示が求められている現在、多くの企業が自社のホームページなどで情報発信をしています。

まず、気を付けたいのは、企業名とブランドの違いと、親会社と子会社（グループ会社）の関係です。たとえば、「ユニクロ」は「株式会社ファーストリテイリング」という会社のブランド名です。「セブンイレブン」と「Loft」は、同じ「株式会社セブン&アイ・ホールディングス」グループです。グループ企業の情報は、グループを統括する企業のHPで公開される傾向があります。

情報公開は、政府機関、市区町村、大学のような非営利団体や業界団体などにも広がっています。もちろん「甲南大学」の情報も、「学校法人甲南学園」が公開しています。



【チェックしておきたい項目】

●経営方針・沿革・事業内容

就職活動でエントリーするなら、企業の経営方針は覚えるくらいに読み込みましょう。

大手企業であれば、グループ会社や子会社、持っているブランドなども要チェックです。重要な企業との協力関係（アライアンス）も押さえておきたい事項です。

多くの企業はリスクを分散させるため、多角的な経営を行っています。事業内容からどんな事業を行っていて、どの事業に力をいれているかを確認し、社会情勢と照らし合わせて考えてみてください。グローバル企業なら、どこの国との取引が多いかも調べてみましょう。

●IR情報

IR (Investor Relations) 情報とは、投資家に向けて企業が発信する情報です。一般的に経営方針やトップからのメッセージ、売り上げ等のデータ、有価証券報告書、株式情報などが公開されています。データを月次で公開する企業も少なくありません。

●CSRレポート

大企業であるほど、社会や環境に与える影響や、ステークホルダー（株主、顧客、従業員など、利害関係のある人々）への影響が大きくなります。そのため、各企業は、利益の追求だけでなく、倫理的にも社会に貢献する責任があります。これを、CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) といいます。

CSR レポートには、企業のボランティア活動についてだけでなく、コンプライアンス（法令順守）や行動指針、人権に関する方針など、従業員の福利に関わる事項も多く記載されています。最近では、SDGs（持続可能な開発目標）を掲げ、「サステナビリティ (Sustainability)」としてこれらの取り組みが発信されることもあります。

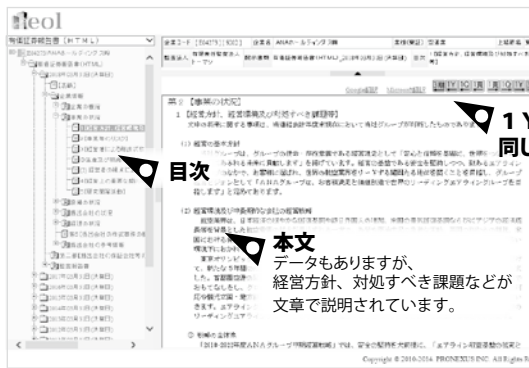
eol (有価証券報告書)

「有価証券報告書」と各企業が開示した書類、株価などの企業情報データベース。有価証券報告書は金融庁のHPからも公開されていますが、eol には、各項目へのリンクや全文検索、同業他社比較など、初心者にも便利な機能があります。

1. 企業名で検索した結果（サマリー画面）



2. 有価証券報告書画面



1Y = 前年の同じ頁へ

エントリーシートに使えます！

データもありますが、経営方針、対処すべき課題などが文章で説明されています。

Factiva

世界のビジネス情報が検索できるデータベース。世界中の新聞や雑誌記事と、企業情報が検索できます。



英文データベースですが、日本語コンテンツも含まれます。

※国や企業の事情で決算時期が異なるので、データ比較するときには注意してください。

■無料のコンテンツはありませんか。

確かに、業界・企業情報は有料のコンテンツが多く、しかも高額です。ですが、無料コンテンツも数多くあります。「業界情報」「企業情報」といったキーワードで検索できますが、誰がいつどこから集めた情報かに注意してください。おすすめは金融機関のレポートです。銀行が行った様々な調査が、各銀行のHPで公開されています。また、各業界団体のHPからも情報発信されていることがあります。たとえば、製パン業界には「日本パン工業会」という団体があり、パンの生産動向や食の安全への取り組みなどが公開されています。

ですが、どうでしょう。*卒業生の利用については、HPの利用案内を参照してください。